1 秩父で行われる祭り

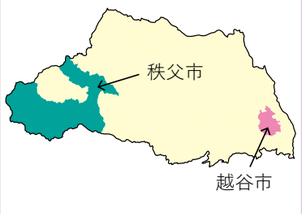
秩父に伝わる祭り

ひろしさんたちは、秩父市の「秩父夜祭」にきょうみをもち、みんなで調べることにしました。

たくさんの人でにぎわう「秩父夜祭」の様子

つかむ

秩父夜祭について資料をもとに話し合い、学習問題をつくりましょう。



秩父市の位置

「わあ、たくさんの人がおみこしのようなものの周りに集まっているね。」

「お祭りを見に来ている人たちだね。30万人くらいの人が秩父市に来るそうだよ。」

「大きなみこしのようなものは、笠鉾や屋台とよぶそうだよ。たくさんあるんだね。」

「笠鉾や屋台の上にも人がいるみたい。何をしているのかな。」

秩父市では、毎年12月に「秩父夜祭」が行われます。ひろしさんたちは資料を見て気づいたことを話し合いました。

「350年くらい前から、祭りが続けられてきたそうだよ。どうしてかな。」

「地いきの人たちが、とても大切にしている祭りみたいだよ。どうしてだろう。」

ひろしさんたちは、話し合ったことをもとに、学習問題を立てました。

学習問題

多くの人がおとずれる秩父夜祭は、どのように始まり、どのように受けつがれてきたのでしょうか。

「とっても遠くから多くの人が来ているそうだよ。どんなみりょくがあるのだろう。」

「祭りは6日間あり、それぞれいろいろな意味があるようだね。」

調べること

- いつから始まったのか。
- どのような理由で始まったのか。
- どのように受けつがれてきたのか。
- なぜ大切にされているのか。
- 受けついでいくためのくふうや努力

調べ方

- 副読本を使う。
- 図書館の資料や地図帳を使う。
- インターネットや本で調べる。
- 関係する人々の話を聞く。

幼稚園児が祭りに参加する様子

屋台に乗るはやし手

６日間行われる秩父夜祭

調べる

秩父夜祭はどのようなものでしょうか。

絹大市

絹を売る大きな市を開さいする日です。

ユネスコ無形文化い産

世界中が協力していくためにつくられた組しきの１つ「ユネスコ」がみとめた、伝統的な音楽や祭りなどのことをさします。はじめは建物や自然など形あるものだけが文化い産としてみとめられていましたが、2006年から形のない（ダンスや祭り）などもみとめられるようになりました。

1日目　御本殿清浄の儀　（秩父神社で始まりの儀式）
2日目　宵宮
3日目　大祭（本番）
4日目　蚕糸祭　（絹に関する祭り）
5日目　産業発てん・交通安全祈願祭
6日目　大祭完遂報告祭　（秩父神社の神様に祭りの終わりを伝える）

「どの日の祭りにも、大切な意味があるようだね。」

「近くの神社などとも深い関係がありそうだね。世界でもみとめられているなんてすごいね。」

海外の人たちを祭りにしょうたいした時の様子

秩父まつり会館の人の話

秩父夜祭は、日本三大ひき山祭りの１つに数えられています。

元々は、秩父神社の神様に関係する祭りでしたが、秩父市でさかんだった絹大市の最終日に合わせた大きな祭りと合わせて行われるようになりました。

大きな笠鉾や屋台などをひき、花火を打ち上げるなど、大きな祭りに発てんしていきました。

2016年12月には、ユネスコ無形文化い産に登録されました。

今の形になるまで

秩父夜祭に関する年表	
約1300年前	秩父神社の神様に関する祭りとして11月３日に祭りをしていた。
約350年前	秩父神社の神様に関する祭りにつけくわえる祭りとして屋台などがひかれるようになる。町全体でさかんにつくっていた絹糸を売る日「絹大市」の最終日と合わせてにぎやかな祭りとなる。
約200年前	国からぜいたくな祭りをきん止するよう伝えられ、かかるお金や屋台などの数を少なくして祭りを行う。
約150年前	12月１日から６日の６日間、祭りが行われるようになる。
約100年前	祭りの日に、秩父公園で花火を上げるようになる。
約80年前	戦争中のため、花火をなくしたり、きん止したりした。また、秩父神社の近くだけ屋台をひく形で祭りを行ったりもした。
約60年前	屋台などが埼玉県の有形文化ざいに指定される。 その後、国の重要有形民俗文化ざいに指定される。 ※県や国の守っていくべき大切なものとみとめられた。
約40年前	屋台行事（屋台の上でのおどりやおしばい、おはやし）などが、 国の重要無形民俗文化ざいに指定される。 ※おどりなど、形のない「無形」の部分も国の守っていくべき大切なものとみとめられた。
2016年12月	ユネスコの無形文化い産に登録された。

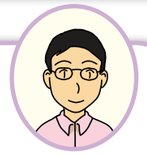
「祭りがきん止されたこともあったみたいね。」

「初めから重要な文化ざいだったわけではないんだね。」

文化ざい

学問や芸術・建物など人間が作り上げてきたもののうち、長い年月の中で、特に高いかちがあるとみとめられたものです。

秩父市役所文化ざい保護課の人の話



この祭りがユネスコの無形文化い産に登録された理由の１つに、「地いきで多くの人々が交流し人々の結びつきを強める重要な役わりをはたしていること」があげられます。長い間みんなで大切にしてきて本当によかったと感じます。今では海外からも多くの人がきています。祭りが、多くの人たちにみとめられ、とてもうれしいです。

調べる

秩父夜祭はどのように始まったのでしょうか。

亀の子石

諏訪神社

前の時間に学習したにぎやかさとはちがう意味を感じるね。

祭りの起こり

武甲山

秩父観光協会の人の話

秩父夜祭には２つの意味があるといわれています。

１つ目は、秩父神社にまつる女の神様と秩父地方にある武甲山という山の男の神様が年に１度出会うための祭りといわれています。出会いの日は12月３日。秩父公園にある亀の子石の所で会う約束になっているそうです。

２つ目は、米や野菜などのゆたかな実りをもたらした水の神様を山（武甲山）にお返しする祭りといわれています。４月に水の神様をむかえる祭りを開き、12月の秩父夜祭の日に武甲山へ水の神様を送り返すのです。

時代が進むにつれ、この２つの意味を持つ祭りに屋台や花火がくわえられて大きな祭りとなりました。

秩父神社の神様とほかの神様

この土地の神様をまつる諏訪神社の前を通るときは、おはやしを止めてしずかに通ります。

これは秩父神社とは別の神様（お諏訪様）の前を通ることで、お諏訪様がおこらないようにするためだそうです。秩父には古くから秩父夜祭とは別の祭りや神様があり、大切にされてきたことがわかります。

祭りに関わる大切なもの

調べる

秩父夜祭に関係する大切なものについて調べましょう。

秩父神社

ひろしさんたちは、秩父夜祭で見られる大きな屋台や神社にきょうみを持ち、グループで話し合いました。

「調べを進めてみると、祭りに関する重要なものがたくさんあることがわかったね。」

「秩父神社との関係について知りたいな。」

「わたしは、お祭りの屋台の上でおどっている人や中でえんそうしている人のことについても知りたいな。」

「みんなで手分けをして、調べてみよう。」

ひろしさんたちのクラスでは、グループごとに分たんを決めて調べることにしました。

調べること

- 秩父神社と祭りについて
- 笠鉾や屋台について
- 屋台しばい・ひきおどり・はやし手について
- 屋台ばやしや花火について

進め方

- グループでそれぞれの役わり分たんを決め、調べる。
- 同じものを調べているほかのグループの人と協力してまとめる。
- 自分のグループにもどり発表をする。
- しつ問や感想を交流する。

２つの笠鉾と４つの屋台

秩父夜祭では２つの笠鉾と４つの屋台、合わせて６つの山車をそれぞれの出発点から地いきごとに協力してひきます。

中近笠鉾（花笠あり）

下郷笠鉾

宮地屋台

上町屋台

中町屋台

本町屋台

笠鉾は、花笠をつけたすがたが本来の形ですが、町をひく時には、電線があるため、花笠を外してひいています。祭りの先頭を歩く役わりもあります。

調べたことをグループのみんなに発表しましょう。

屋台でのしばいやおどり、おはやし

秩父夜祭

≪屋台しばいの様子≫

４つの屋台は、左右にぶたいをくわえ、組み立てると「かぶき」のぶたいに変身します。「かぶき」とは、江戸時代に生まれたえんげきの1つです。

≪屋台ばやしの様子≫

屋台などは大変重くそれらをひく人々のこきゅうを１つにそろえる必要があります。そこで、この秩父屋台ばやしのたいこやかね、笛で、山車の進むイメージを表現しながらひき手のこきゅうを合わせています。

≪ひきおどりの様子≫

それぞれの屋台では、秩父神社内など決められた場所で、進むのを止めて「ひきおどり」を行います。

長うたとよばれる音楽に合わせて歌い、おどります。

≪花火の様子≫

秩父夜祭の２日目「宵宮」と３日目「大祭」で花火が打ち上げられます。

秩父夜祭の花火はめずらしい冬の花火です。冬は空気がすんでいて、きれいな花火を見ることができます。100年以上続く伝統の行事になっています。

調べる

地いきの人たちは、どのような思いでじゅんびをし、参加しているのでしょうか。

祭りに参加する人々の思い

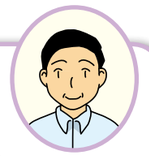
保存会の方が指どうする本町子どもたいこ教室

子どもから大人まで、地いきみんなで練習などに取り組んでいるようだね。

花の木小学校かぶきクラブ

秩父市では、祭りの伝とうを広め、後に続く人々を育てる目的で年間を通して様々な活動を続けています。ひろしさんは、実さいに秩父夜祭の屋台などに出えんしている人たちに話を聞きました。

本町町会の人の話



わたしは、秩父夜祭で、屋台の上に乗り、みんなに「ホーリャイ」とかけ声やおうぎで祭りをもりあげる「はやし手」に選ばれました。選ばれるのは、その日までに、地いきや祭りのために何年間も努力をし、まわりのみなさんにみとめられた人だけです。一生に一度しか選ばれません。「今までがんばってきてよかった。これからは地いきのみなさんや子どもたちのために伝とうを守り、伝えることでおん返ししていこう。」と強く思いました。

みんな、「秩父夜祭」を通して、地いきを大切にする心がつながっていくように、特別な思いでじゅんびや練習をしています。

「市や学校、町会など地いき全体で文化ざいを守り、伝えていく努力をしていることがよく伝わってくるね。」

これからの秩父夜祭

ひろしさんたちは、観光協会の人にこれまでの努力やこれからの秩父夜祭について聞きました。

2019（令和元）年 秩父夜祭の観光客数と秩父市の人口	
12月3日の観光客数	212,000人
秩父市の人口 （住民基本台帳4月1日現在）	62,513人

人口と観光客数をくらべてみよう。

まとめる

調べたことについてまとめ、学習問題について話し合いましょう。

学習問題

多くの人がおとずれる秩父夜祭は、どのように始まり、どのように受けつがれてきたのでしょうか。

秩父観光協会の人の話

多くの人が祭りを通して秩父市に来るようになりました。もっと多くの人に楽しんでもらえるよう、れきしや文化を感じながら、身近に屋台などにふれ合えるくふうをしたり、せん伝の仕方をくふうしたりしています。

参加する人がふえることによって、参加者のマナーや安全面についても注意が必要となってきましたが、祭りは「行う人」と「いろいろなところから参加する人」の両方の協力で大きくなってきました。これからもくふうをしながら、続けて行きたいと思っています。

秩父夜祭を通じて、さらに多くの地いきと交流したり、協力したりしていきたいと考えています。

「せん伝する人や会場を作る人も祭りをささえる大切な役わりをはたしているんだね。」

「祭りがさらに発てんしていくためには、いろいろなことが関わってきそうだね。」

まとめ

ひろしさんたちは、学習問題をたしかめ、調べてきたことをふり返りました。そして自分たちのまちの行事をこれからも続けていくために、自分たちができることについて考え、話し合いました。